

各 位

上場会社名	エムケー精工株式会社
代表者	代表取締役社長 丸山 永樹
(コード番号	5906)
問合せ先責任者	取締役管理本部長 小林 文彦
(TEL	026-272-0601)

通期業績予想数値と実績値との差異に関するお知らせ

平成22年2月2日に公表しました平成22年3月期(平成21年3月21日～平成22年3月20日)業績予想と本日公表の決算につきまして、下記の通り差異が生じたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想との差異について

平成22年3月期通期連結業績予想と実績との差異(平成21年3月21日～平成22年3月20日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	18,200	300	100	50	3.45
実績(B)	17,858	314	226	65	4.53
増減額(B-A)	△341	14	126	15	
増減率(%)	△1.9	4.9	126.1	31.4	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	18,890	150	53	△801	△55.22

平成22年3月期通期個別業績予想と実績との差異(平成21年3月21日～平成22年3月20日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	16,200	180	120	40	2.76
実績(B)	15,989	130	201	51	3.55
増減額(B-A)	△210	△49	81	11	
増減率(%)	△1.3	△27.3	67.6	28.8	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	17,142	185	220	△591	△40.74

差異の理由

当該事業年度は、一昨年来の世界同時不況による厳しい経済環境下に終始し、期の終盤から輸出関連など一部業界に持ち直しの様子もみられておりますが、全体的には、依然はっきりとした回復感を感じられず、当社グループの関係する業界におきましても、設備投資の低迷、個人消費の停滞などの影響が引き続き厳しい環境下にあります。

かかる状況下にあつて、当社グループの実績におきまして、売上高等の収入は前回の予想を下回りましたが、収益面におきましては、個別の業績については営業利益の低下という結果となったものの、グループを挙げて懸命な合理化、経費削減に取り組み、また、子会社が全般的に堅調に推移したことにより、連結の営業利益については僅かながらも予想より増加いたしました。加えて、保険の解約による収入・技術指導料収入・治工具の売却などの営業外収益が増加したことにより、経常利益および当期純利益については連結・個別ともに前回予想を上回りました。

以上